

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年7月14日
【四半期会計期間】	第27期第1四半期（自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日）
【会社名】	株式会社グラファイトデザイン
【英訳名】	GRAPHITE DESIGN INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松田 喜良
【本店の所在の場所】	埼玉県秩父市太田2474番地1
【電話番号】	0494(62)2800
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部長 窪田 悟
【最寄りの連絡場所】	埼玉県秩父市太田2474番地1
【電話番号】	0494(62)2800
【事務連絡者氏名】	取締役 管理本部長 窪田 悟
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第26期 第1四半期 累計期間	第27期 第1四半期 累計期間	第26期
会計期間	自平成26年 3月1日 至平成26年 5月31日	自平成27年 3月1日 至平成27年 5月31日	自平成26年 3月1日 至平成27年 2月28日
売上高 (千円)	725,416	680,978	4,024,300
経常利益 (千円)	96,877	58,134	1,032,517
四半期(当期)純利益 (千円)	85,918	28,943	673,754
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	589,612	589,612	589,612
発行済株式総数 (株)	6,945,600	6,945,600	6,945,600
純資産額 (千円)	3,634,880	4,133,003	4,230,770
総資産額 (千円)	5,090,281	5,367,603	5,599,942
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	12.48	4.50	102.84
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	20.00
自己資本比率 (%)	71.4	77.0	75.6

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 第26期第1四半期累計期間及び第26期、第27期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため、記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第1四半期累計期間における経営環境は、政府の各種政策や日銀の金融緩和を背景に、円安・株高で推移するとともに、景気は緩やかに回復基調が続いております。しかしながら、消費マインドは消費税増税による反動から回復の遅れが見受けられ、景気の先行き不透明な状況で推移いたしました。

ゴルフ業界におきましては、ゴルフ用品販売等において依然として需要低迷が続き、業界全体としては厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社はゴルフシャフトの販売の拡大と自転車フレーム等製造販売事業の販売拡大に傾注してまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高680,978千円（前年同期比6.1%減）、営業利益31,958千円（前年同期比67.6%減）、経常利益58,134千円（前年同期比40.0%減）、四半期純利益28,943千円（前年同期比66.3%減）となりました。

セグメントについては、下記のとおりであります。

当社は、スポーツ用品関係の専門メーカーとして、ゴルフシャフト等の製造販売を柱とし、ゴルフクラブ組立加工事業及び自転車フレーム等製造販売を行っております。従って、経営の多角化を示すような事業の種類がないため、記載しておりません。

#### (2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3)研究開発活動

当第1四半期累計期間における研究開発活動の金額は、2,737千円であります。

なお、当第1四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

#### (4)財政状態

##### (資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ232,339千円減少し、5,367,603千円となりました。

主な要因は、流動資産において、売上債権が242,375千円減少したことによるものであります。

##### (負債)

当第1四半期会計期間末の負債総額は、前事業年度末に比べ134,572千円減少し、1,234,599千円となりました。

主な要因は、借入による資金調達が増加した一方、未払法人税等が272,730千円減少したことによるものであります。

##### (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産については、前事業年度末と比べ97,767千円減少し、4,133,003千円となりました。

主な要因は、四半期純利益28,943千円計上した一方、配当金の支払いが128,590千円発生したことによるものであります。

この結果、株主資本比率は77.0%となり前事業年度末と比べ1.4%ポイント増加しました。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	27,782,400
計	27,782,400

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成27年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成27年7月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,945,600	6,945,600	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,945,600	6,945,600	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成27年3月1日～ 平成27年5月31日	-	6,945,600	-	589,612	-	582,653

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成27年2月28日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成27年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 516,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,428,900	64,289	-
単元未満株式	普通株式 700	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	6,945,600	-	-
総株主の議決権	-	64,289	-

(注)単元未満株式数には、当社所有の自己株式64株が含まれております。

【自己株式等】

平成27年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社グラフィイトデザイン	埼玉県秩父市太田 2474番地1	516,000	-	516,000	7.42
計	-	516,000	-	516,000	7.42

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（平成27年3月1日から平成27年5月31日まで）及び第1四半期累計期間（平成27年3月1日から平成27年5月31日まで）に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

## 1【四半期財務諸表】

## (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成27年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,300,301	3,279,573
受取手形及び売掛金	814,833	572,457
商品及び製品	262,248	283,147
仕掛品	88,990	96,391
原材料及び貯蔵品	71,125	66,867
繰延税金資産	43,689	36,750
その他	19,807	17,440
貸倒引当金	795	625
流動資産合計	4,600,200	4,352,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	430,191	429,558
土地	195,701	195,701
その他(純額)	99,560	98,091
有形固定資産合計	725,453	723,350
無形固定資産	47,841	46,507
投資その他の資産	226,446	245,742
固定資産合計	999,741	1,015,600
資産合計	5,599,942	5,367,603
負債の部		
流動負債		
買掛金	285,181	272,039
短期借入金	397,438	528,149
未払法人税等	296,236	23,506
賞与引当金	40,808	6,383
その他	126,452	182,310
流動負債合計	1,146,117	1,012,388
固定負債		
長期借入金	26,684	16,685
退職給付引当金	47,004	53,047
役員退職慰労引当金	92,939	95,770
資産除去債務	56,426	56,708
固定負債合計	223,054	222,211
負債合計	1,369,172	1,234,599

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成27年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	589,612	589,612
資本剰余金	582,653	582,653
利益剰余金	3,511,951	3,412,304
自己株式	456,164	456,164
株主資本合計	4,228,053	4,128,406
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,716	4,597
評価・換算差額等合計	2,716	4,597
純資産合計	4,230,770	4,133,003
負債純資産合計	5,599,942	5,367,603



## (2)【四半期損益計算書】

## 【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	725,416	680,978
売上原価	365,433	375,702
売上総利益	359,982	305,276
販売費及び一般管理費	261,402	273,318
営業利益	98,580	31,958
営業外収益		
受取利息	30	19
為替差益	1,361	24,336
雑収入	1,672	3,349
営業外収益合計	3,064	27,705
営業外費用		
支払利息	2,173	1,528
貸倒引当金繰入額	2,593	-
雑損失	0	0
営業外費用合計	4,767	1,528
経常利益	96,877	58,134
特別利益		
固定資産売却益	154	-
保険解約返戻金	1,479	1,552
特別利益合計	1,633	1,552
特別損失		
固定資産売却損	9	-
ゴルフ会員権評価損	-	1,650
特別損失合計	9	1,650
税引前四半期純利益	98,502	58,036
法人税、住民税及び事業税	11,137	22,233
法人税等調整額	1,446	6,860
法人税等合計	12,583	29,093
四半期純利益	85,918	28,943

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

四半期会計期間末日満期手形

四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。  
なお、当四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が四半期会計期間末日残高に含まれております。

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成27年5月31日)
受取手形	1,719千円	2,566千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
減価償却費	21,217千円	24,994千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1.配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月28日 定時株主総会	普通株式	173,638千円	25円	平成26年2月28日	平成26年5月29日	利益剰余金

2.株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成26年5月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式516,000株の取得を行いました。  
この結果、当第1四半期累計期間において自己株式が456,144千円増加し、当第1四半期会計期間末において自己株式が456,164千円となっております。

当第1四半期累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)

1.配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月28日 定時株主総会	普通株式	128,590千円	20円	平成27年2月28日	平成27年5月29日	利益剰余金

2.株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の報告セグメントは、スポーツ用品関係の専門メーカーとして、ゴルフシャフトの製造販売を柱とし、その他ゴルフクラブ組立加工・スポーツサイクル製造販売を行っております。

したがって、当社は、スポーツ用品関係の専門メーカーであり単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	12円48銭	4円50銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	85,918	28,943
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	85,918	28,943
普通株式の期中平均株式数(株)	6,883,840	6,429,536

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年7月9日

株式会社グラフィイトデザイン

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大橋 一生 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 新居 伸浩 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社グラフィイトデザインの平成27年3月1日から平成28年2月29日までの第27期事業年度の第1四半期会計期間（平成27年3月1日から平成27年5月31日まで）及び第1四半期累計期間（平成27年3月1日から平成27年5月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社グラフィイトデザインの平成27年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。